

2023年度(2022年度実施分)政策評価結果 に対する意見集

本意見集は、豊中市総合計画審議会の審議過程において各委員から出された意見を取りまとめたものです。

今後、政策評価の運用にあたっては、本意見集及び添付している各部会の議事要旨をご活用いただくことをお願いするものであります。

令和5年(2023年)12月11日

豊中市総合計画審議会
会長 加藤 晃規

2023年度(2022年度実施分)政策評価結果に対する意見

当審議会では、2023年度(2022年度実施分)政策評価結果において、第三者の立場から、政策評価が事実に基づいて正しく評価されているか、PDCAサイクルがまわるような書き方になっているか、市民が読んだときにわかりやすくなっているかの視点から審議を行い、意見として取りまとめましたので、報告します。

1	<p>【施策のアウトカム（成果）について】</p> <p>各施策は、社会全体によいインパクトを残して変えていくことが本来の目的なため、取り組んだことだけでなく、その結果としてのアウトカム（成果）を書くことをより強く意識されたい。</p> <p>アウトカム（成果）の評価は、根拠となる数値やエビデンスに基づいて記載されたい。また、市民目線にたち、地域や市民にどのような影響を与えたかの視点で記載されたい。</p>
2	<p>【評価の整合性について】</p> <p>施策シートと施策の方向性シートで課題が異なるなど、記載内容の整合がとれていないものがみられる。実施事項と成果、今後の方針の全体としての整合を図り、PDCAサイクルに基づく評価を実施されたい。</p>
3	<p>【総合評価の理由について】</p> <p>施策シート、施策の方向性シートともに、評価が「B」から「A」になったシートが多くあり、最終年度にA評価がほとんどを占めていることは評価できる。</p> <p>しかし、評価の根拠となる理由がシートから読み取れないものがみられる。</p> <p>成果として何がどう変わり、良くなったのかを記載されたい。</p>
4	<p>【市民にとってわかりやすい文章について】</p> <p>様々な取組みを網羅的に書くのではなく、例えば、5年間で柱となった取組みや、効果や成果が大きかった取組み、市民の関心が高い内容など優先順位をつけ、メリハリのある文章を心掛けられたい。</p> <p>また、専門用語や略語はできるだけ避け、具体的かつわかりやすい表現を心掛けられたい。</p>

5	<p>【前期基本計画の総括について】</p> <p>計画の最終年度にも関わらず、5年間の施策の達成度について触れられていないものが多く見受けられる。数値は単に並べるだけでなく、目標値を達成できなかった指標も多くあることから、様々な切り口で分析のうえ、結果について説明されたい。また、その結果に触れたうえで、課題や今後の方向性を示し、計画としての達成度や総括を記述されたい。</p>
6	<p>【新型コロナなどの緊急事態への対応について】</p> <p>新型コロナのような当初想定していなかった緊急事態に対して、どのように事業を見直したのか、当初の目標設定に対して達成できたのか、できなかったのかを明らかにする必要がある。また、その成果および残された課題、今後このような緊急時にはどのように対応していくのかを評価し、記載されたい。</p>
7	<p>【市の取組みのPRについて】</p> <p>継続的な取組みであっても、全国的にモデルとなる取組みや他市より進んでいる取組みについては、より積極的にアピールされたい。</p>
8	<p>【課題提示について】</p> <p>現在取り組んでいる課題については、現時点での進捗状況や取組みの方針を示されたい。また、短期的な解決が難しいものについては、その課題を乗り越えるにあたっての、苦労や難しさを示すことも必要である。</p>
9	<p>【指標の設定について】</p> <p>設定された指標のうち、期間中に数値が取れた回数が極端に少ないものがある。国の調査等で数値が取れないものについては、代替指標や補足説明など達成状況が明らかになるよう工夫されたい。</p>
10	<p>【リーディングプロジェクトについて】</p> <p>リーディングプロジェクトの目的は、分野横断的に地域の魅力向上や、南部地域に住みたい、住み続けたいと思ってもらえるようにすることである。5年間の総括としては、重点的な位置づけの取組みである子どもや教育に関する内容に加えて、まちづくりや住環境にも触れて記載されたい。</p>